

平成28年10月

平成28年	7月	～	9月期	実 績
平成28年	10月	～	12月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
〔集計資料〕	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

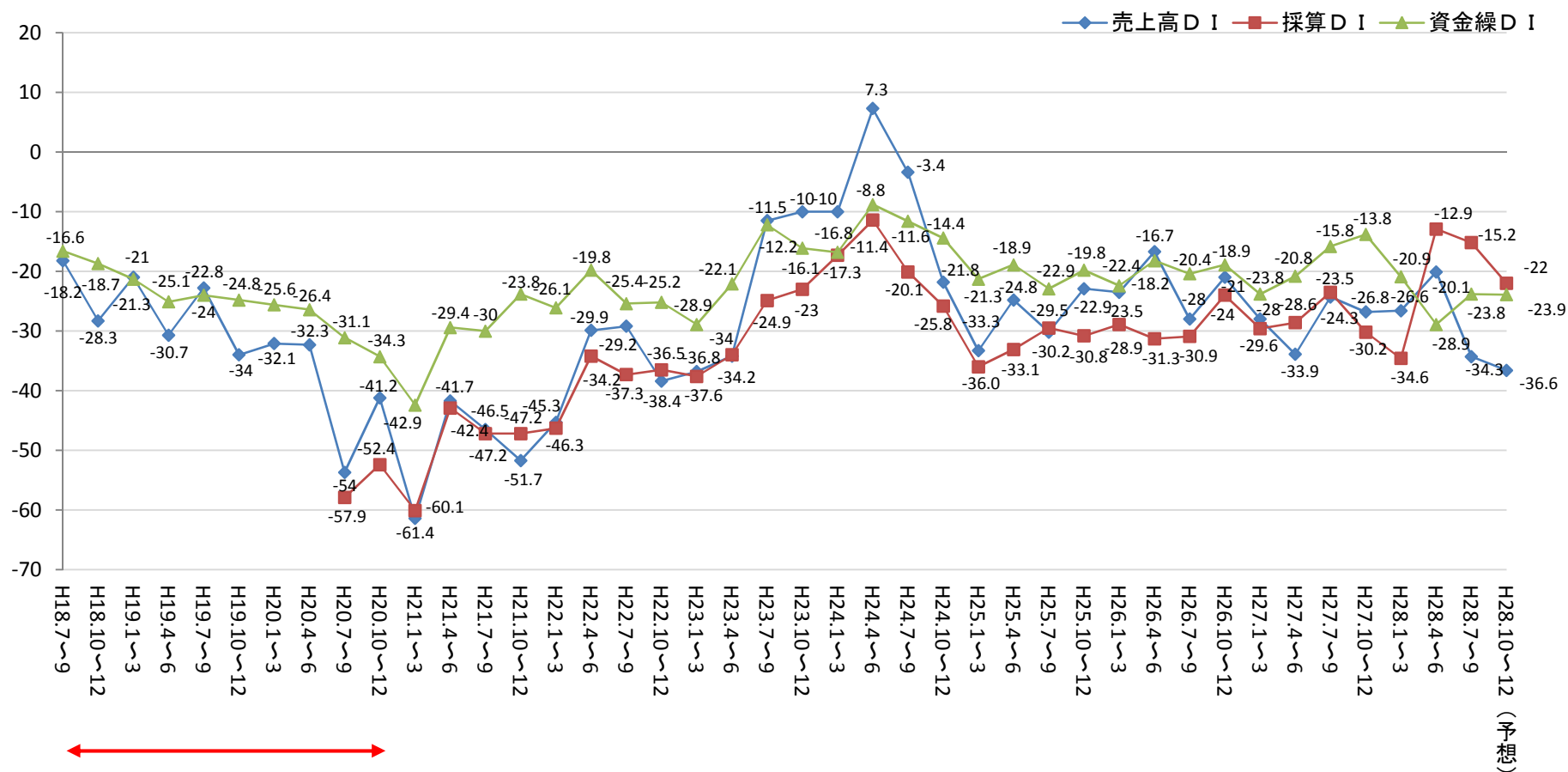
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業況天気図

業種 \ 期間	平成26年 10～12月	平成27年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成28年 1～3月	4～6月	7～9月	(見通し) 10～12月
製造業	 曇	 曇	 雨	 薄曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇
建設業	 薄曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇
小売業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 雨	 曇
サービス業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇

売上高DI	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

全産業の推移

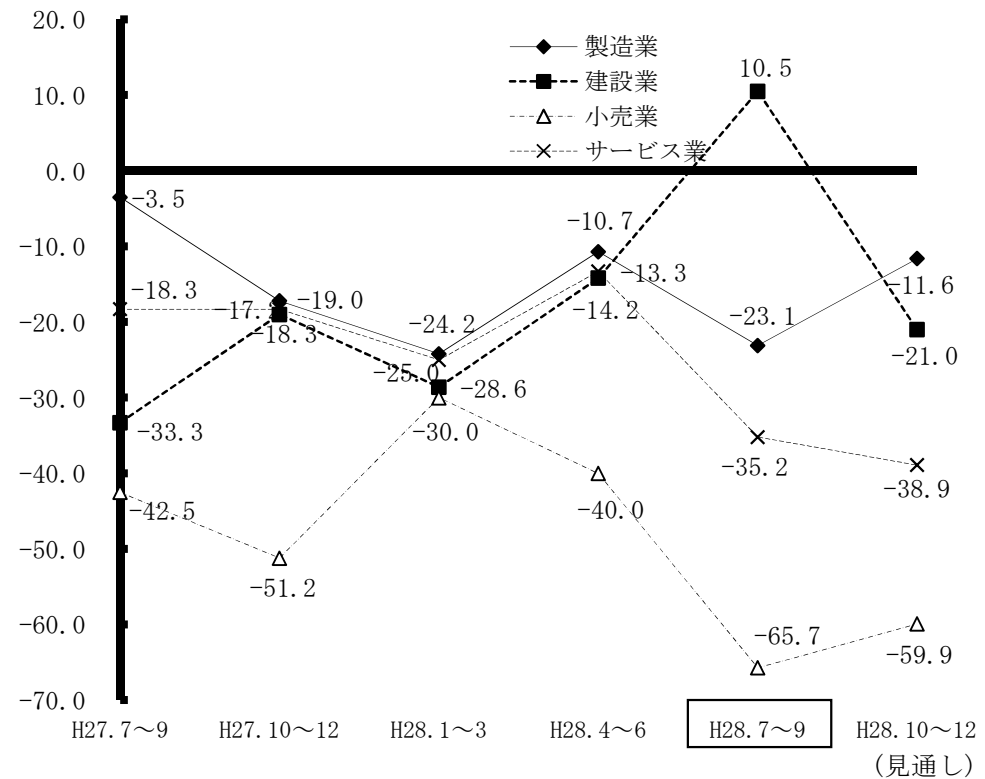
売上高

建設業が大幅に上昇

今期は、建設業が24.7ポイントと大幅に上昇して、D・Iがプラスに転じたものの、製造業が12.4ポイント低下したほか、サービス業が21.9ポイントの低下、小売業も25.7ポイント低下し、製造、小売、サービスの3業種で低下となりました。

特に、小売業は2期連続して低下し△65.7まで悪化しています。

来期は、建設業が大幅に低下、製造業、小売業において上昇の見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採算

建設業、製造業、サービス業が好転

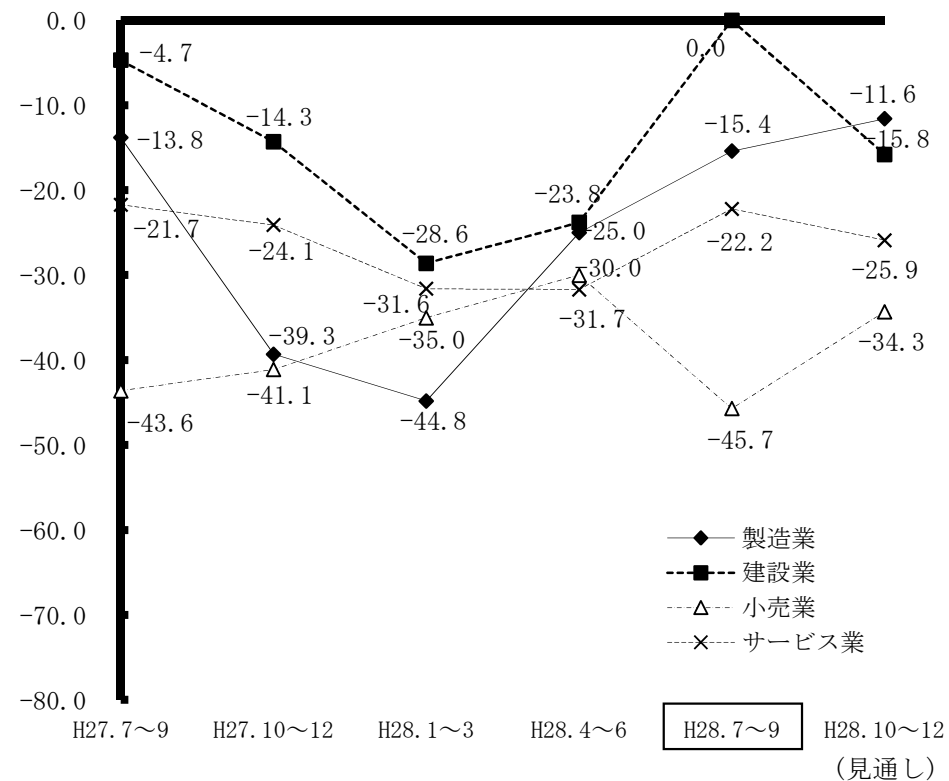
今期は、建設業が23.8ポイント上昇してD・Iがマイナス領域からゼロまで回復、製造業が9.6ポイント上昇して△15.4。

4、サービス業が9.5ポイント上昇して△22.2まで回復しました。

小売業のみが、15.7ポイント低下して△45.7まで悪化となりました。

来期は、製造業、小売業において上昇の見通しですが、建設業、サービス業においては低下が見込まれています。

※採算は各業種とも経常利益



全産業の推移

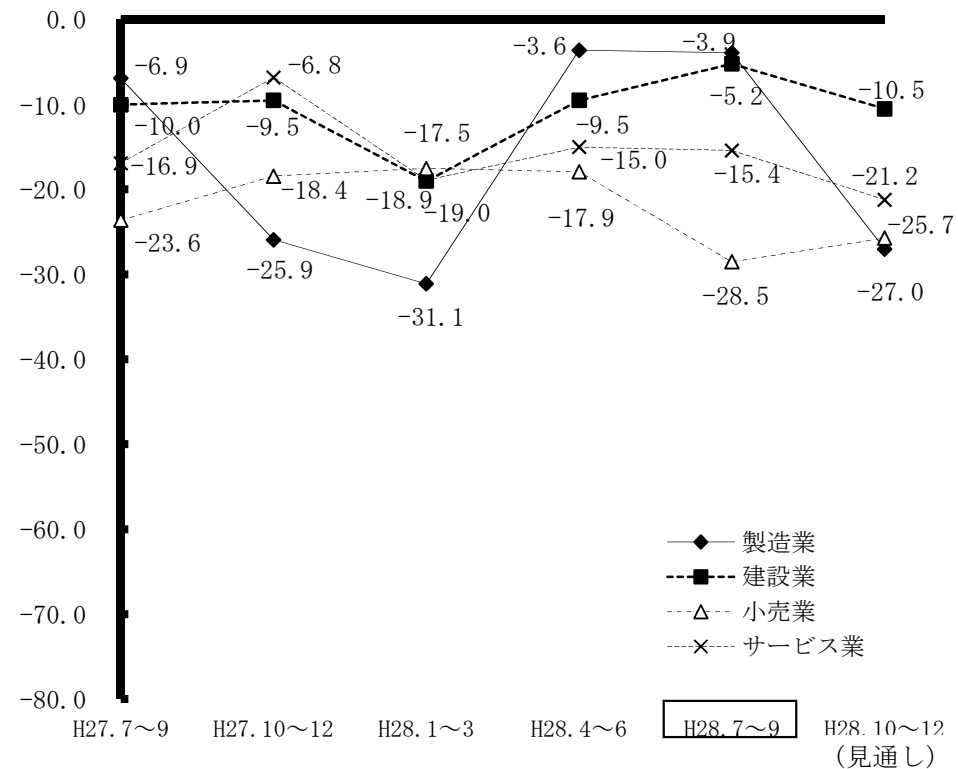
資金繰り

製造業、建設業で資金繰りが改善

今期は、建設業において、4.3ポイント上昇して△5.2まで回復したほか製造業がほぼ横ばいの△3.9、サービス業もほぼ横ばいの△15.4となりました。

小売業のみが10.6ポイント低下し、△28.5となっています。

来期は、小売業がやや上昇するものの、建設業、サービス業は低下し、製造業は大幅に低下する見通しとなっています。



製造業の推移

売上高

<今 期>

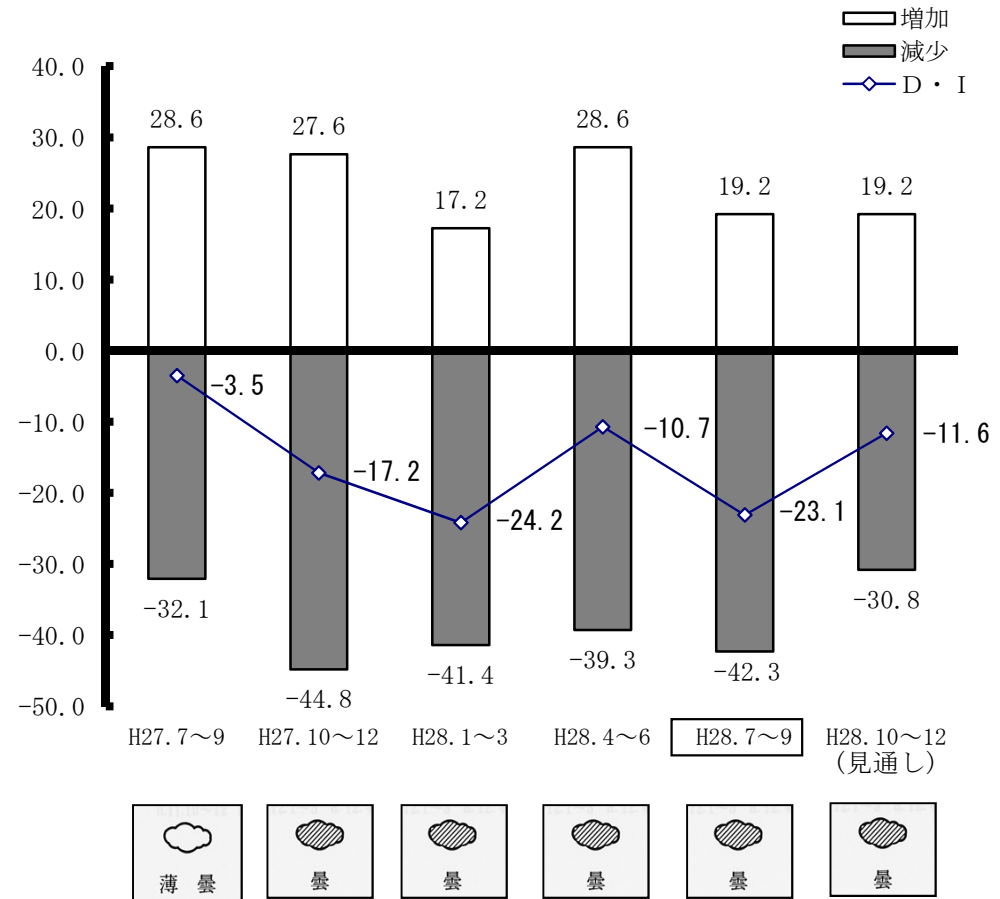


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が減少し、売上高減少企業の割合も増加したことにより、売上高D・Iは低下し、△23.1となりました。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が横ばい、売上の減少を予想する企業割合が減少する結果、売上高D・Iは△11.6まで回復する見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>

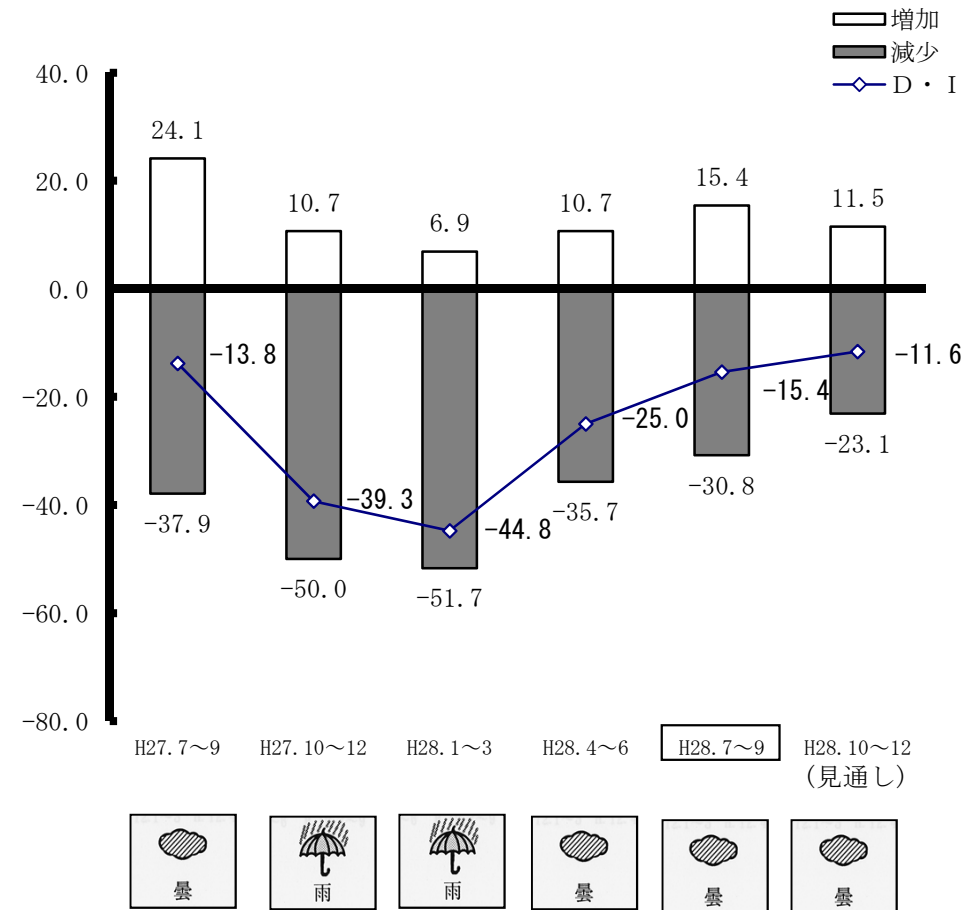


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が2期連続して増加し、採算が悪化した企業の割合も2期連続して減少したことにより、採算D・Iは9.6ポイント上昇し、△15.4まで回復しました。

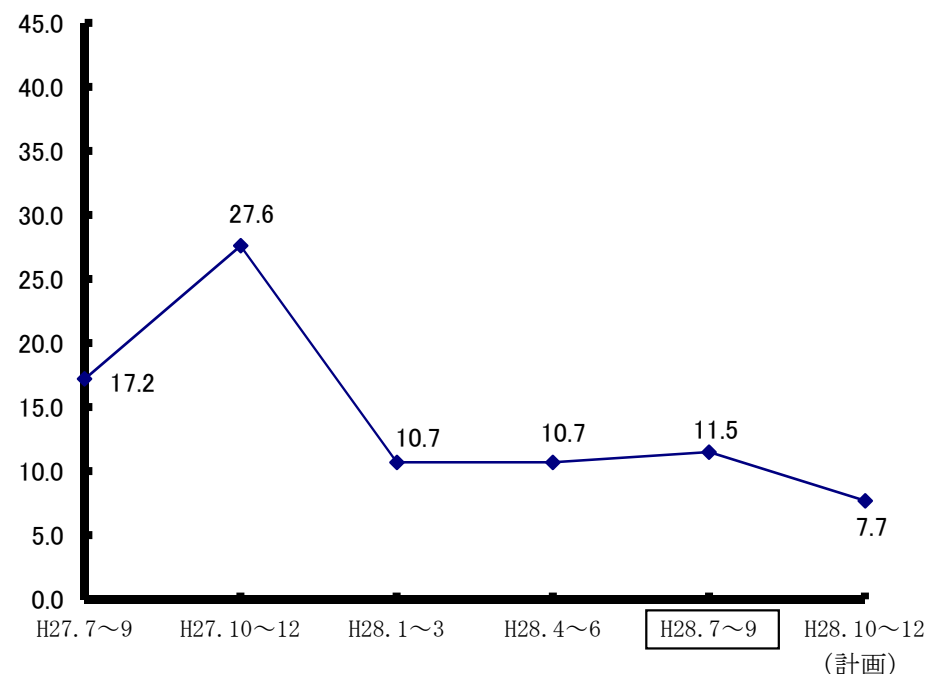
来期の採算D・Iは、採算の改善を予想する企業割合は減少するものの、悪化を予想する企業割合が引き続き減少するため、3期連続して改善する見通しとなっています。



設備投資

今期、設備投資を行った企業の割合は、小幅に増加し、11.5でした。

来期は、設備投資が減少することが予想されます。



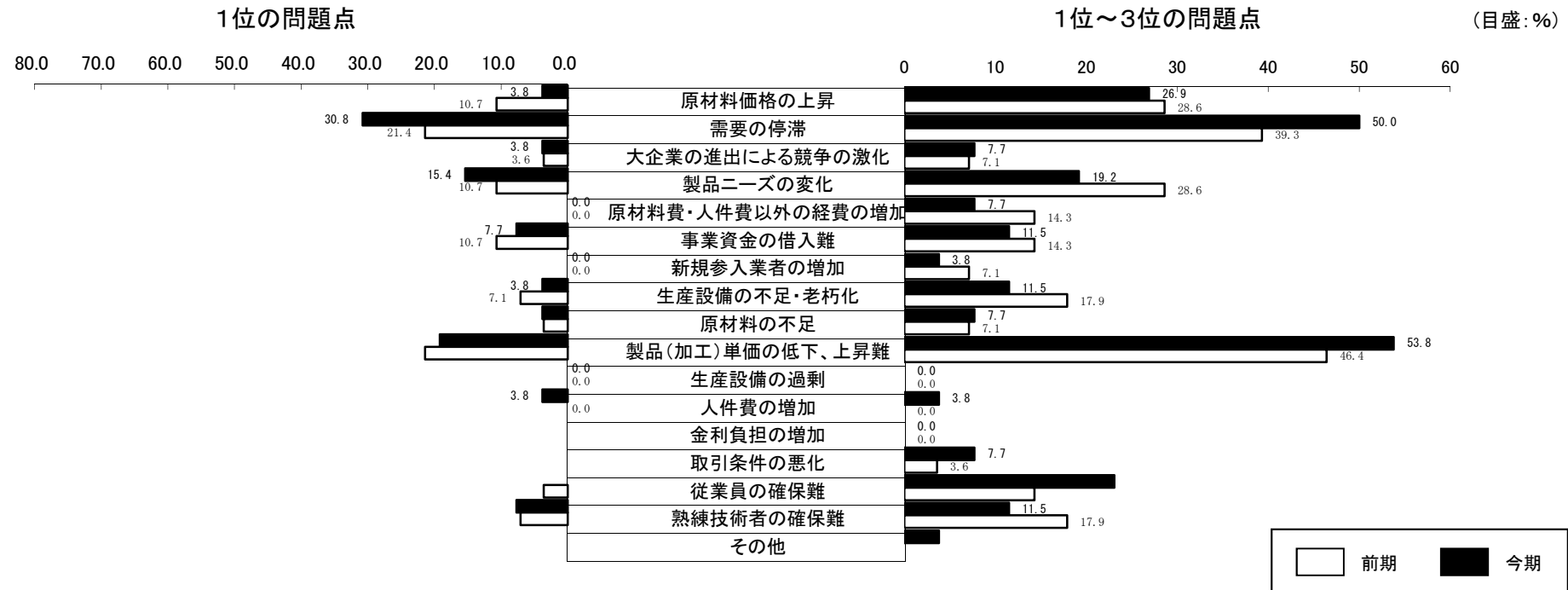
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>

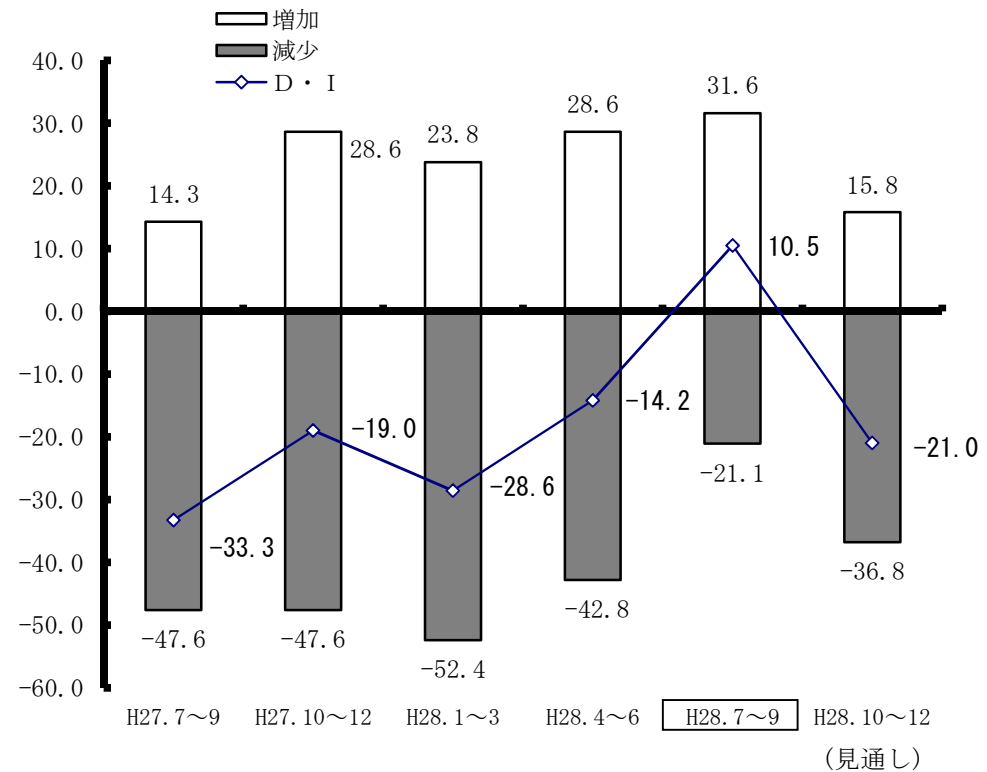


<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業の割合が増加し、また、売上高が減少した企業の割合も大幅に減少したことから、売上高D・Iは24.7ポイント上昇してプラス領域の10.5となり、景況天気図が曇りから晴れに転じています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が減少し、売上高の減少を予想する企業の割合が増加する結果、△21.0まで、低下する見通しです。

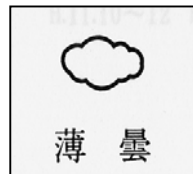


※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

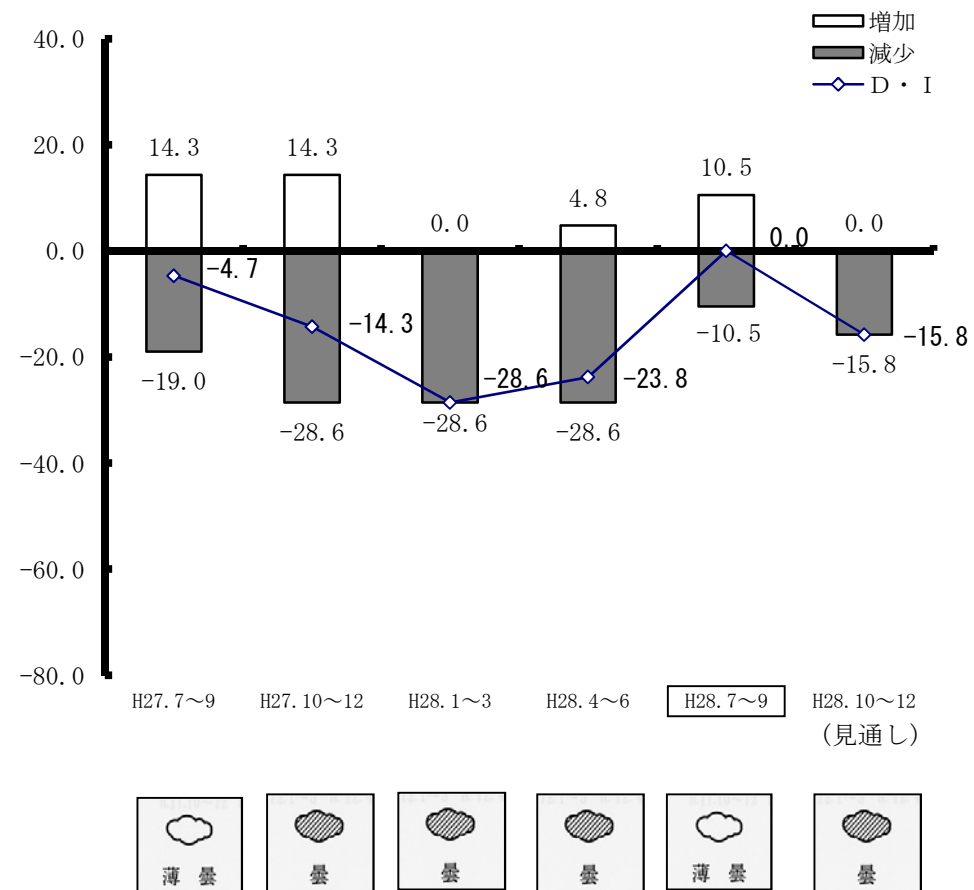


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算が好転した企業割合が前期に引き続き増加し、採算が悪化した企業割合が減少したため、採算D・Iは23.8ポイント上昇して0.0まで回復しました。景況天気図も曇りから薄曇りに変化しています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が減少し、悪化を予想する企業割合が増加することから、採算D・Iは、△15.8まで悪化する見通しです。



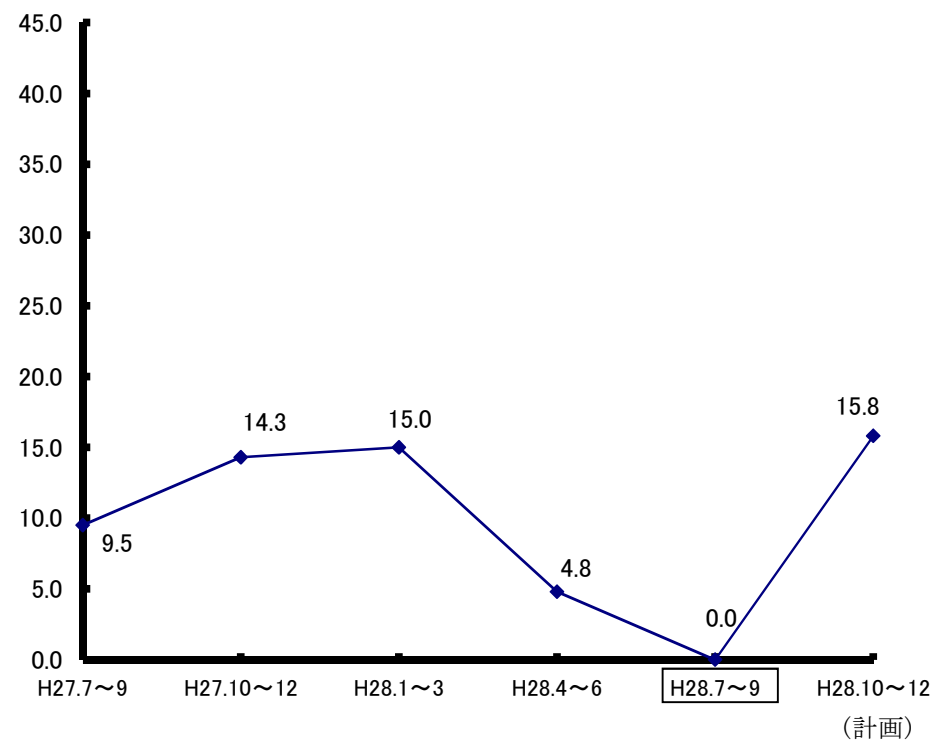
建設業の推移

設備投資

建設業において設備投資を実施した企業の割合は、2期連続して減少し、設備投資は0.0まで低下しました。

来期は、設備投資を予定する企業が大幅に増加し、15.8まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

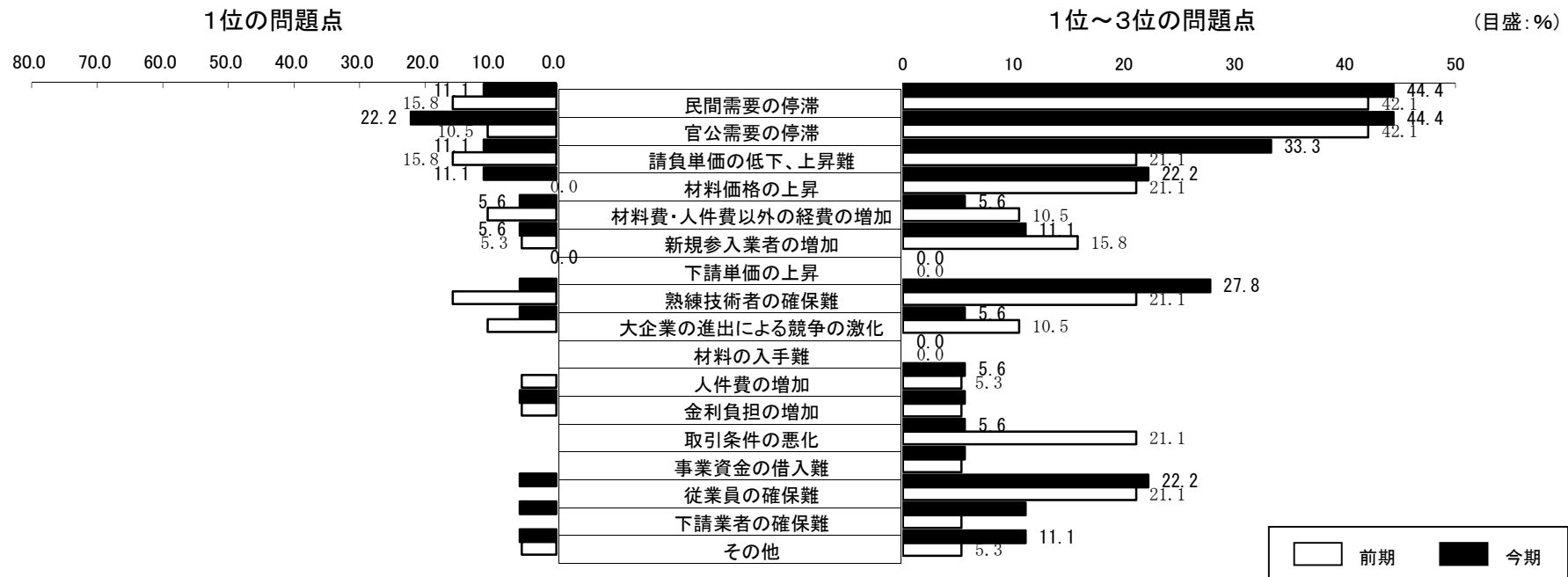


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

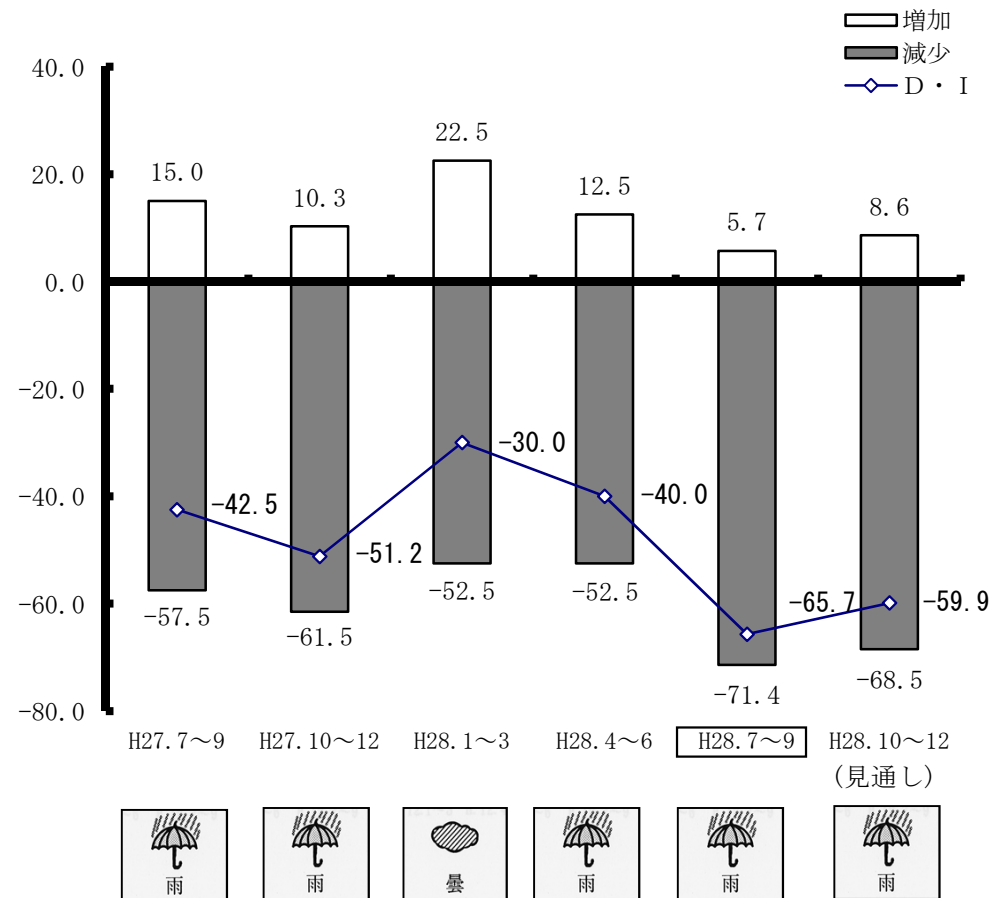


<来期見通し>



今期は売上高増加企業の割合が引き続き減少し、また、売上高減少企業の割合が増加したため、売上高D・Iは25.7ポイント低下して、△65.7まで大幅に悪化しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が増加し、売上高の減少を予想する企業の割合が減少することから、売上高D・Iは、5.8ポイント上昇して△59.9となる見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>



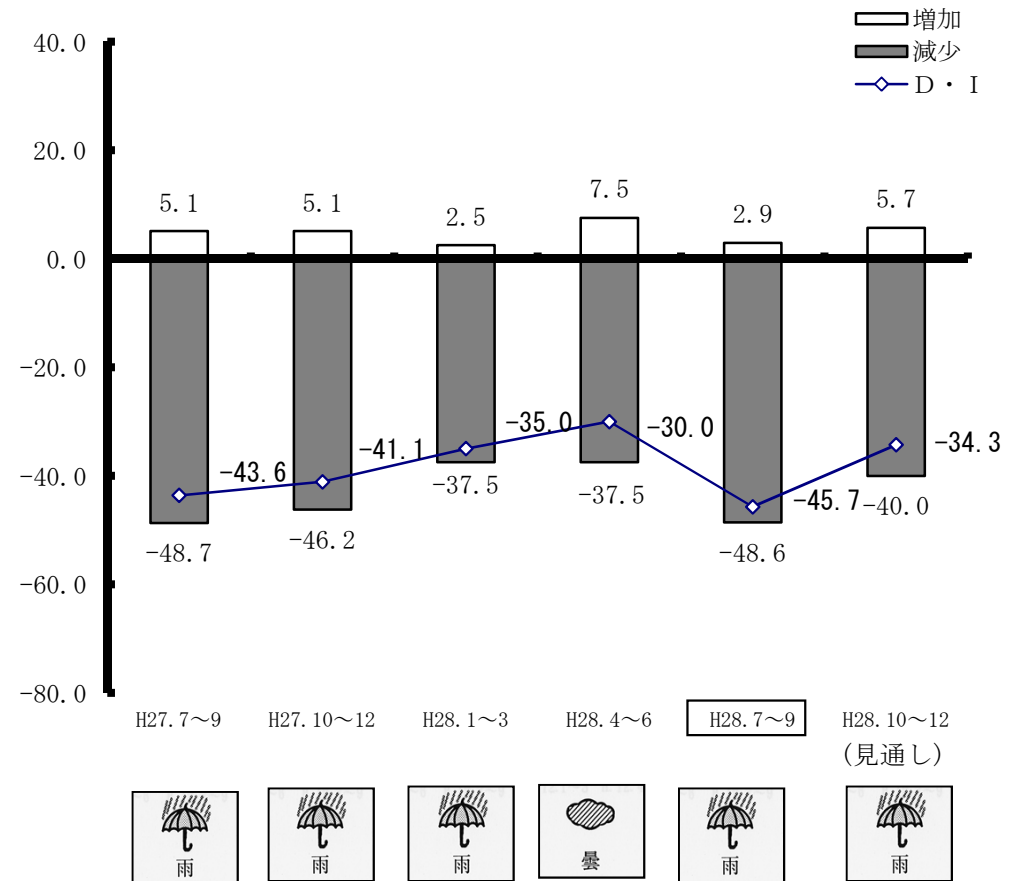
<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業割合の減少と採算が悪化した企業割合の増加により、採算D・Iは15.7ポイント低下し、△45.7まで悪化しました。

景況天気図も曇りから雨へと変化しています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が増加し、採算の悪化を予想する企業割合の減少により採算D・Iは好転する見通しです。



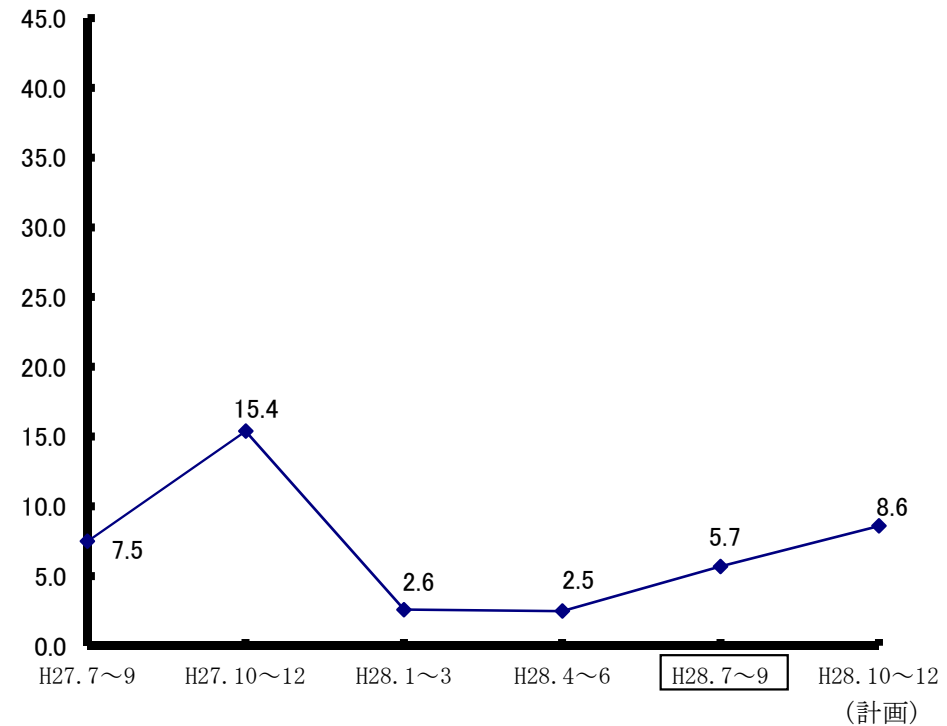
小 売 業 の 推 移

設 備 投 資

今期、小売業において設備投資を実施した企業は増加し、5.7まで増加しました。

来期は、設備投資を計画している企業が引き続き増加し、8.6まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

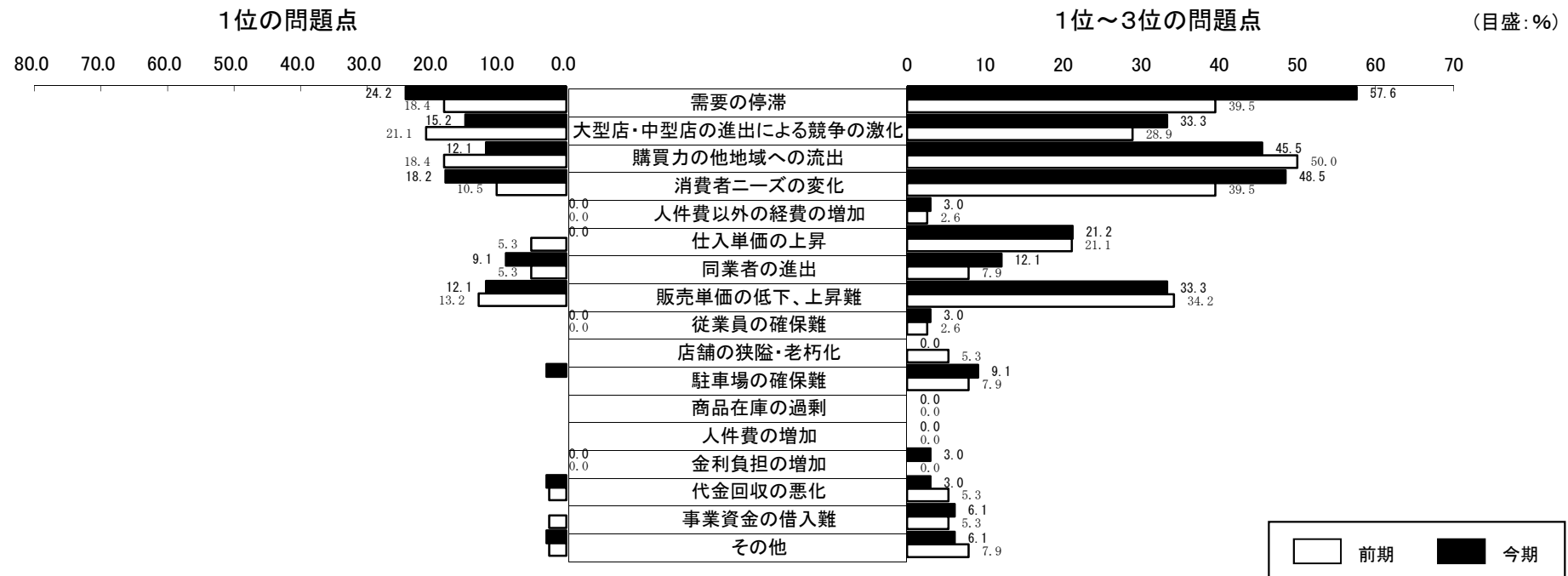


小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

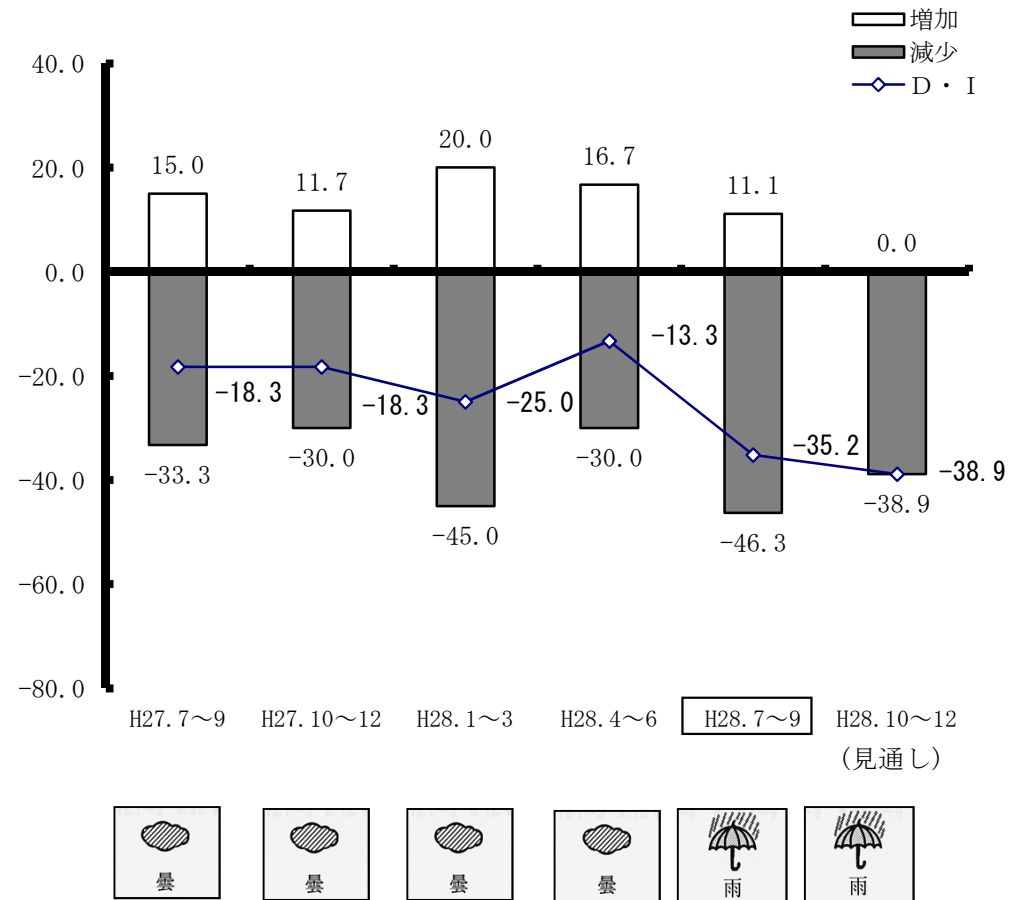


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が減少し、売上高減少企業の割合が大幅に増加したため、売上高D・Iは、21.9ポイント低下し、△35.2まで悪化しています。景況天気図も曇りから雨へと変化しています。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合が引き続き減少し、売上高減少を予想する企業の割合も減少するものの、売上高D・Iは引き続き低下し、△38.9となる見通しです。



サービス業の推移

採 算

<今 期>

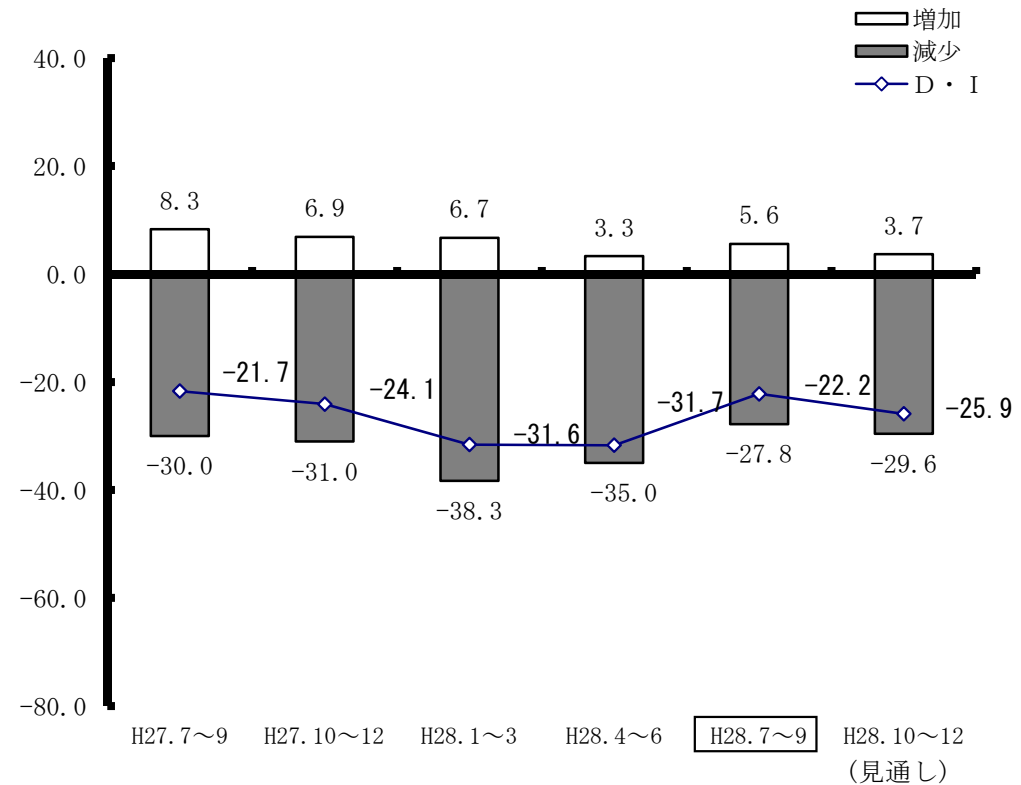


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が増加し、採算が悪化した企業も減少したことから、採算D・Iは、9.5ポイント上昇し、△22.2となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合の減少と悪化を予想する企業割合の増加により、採算D・Iは△25.9まで低下する見通しです。

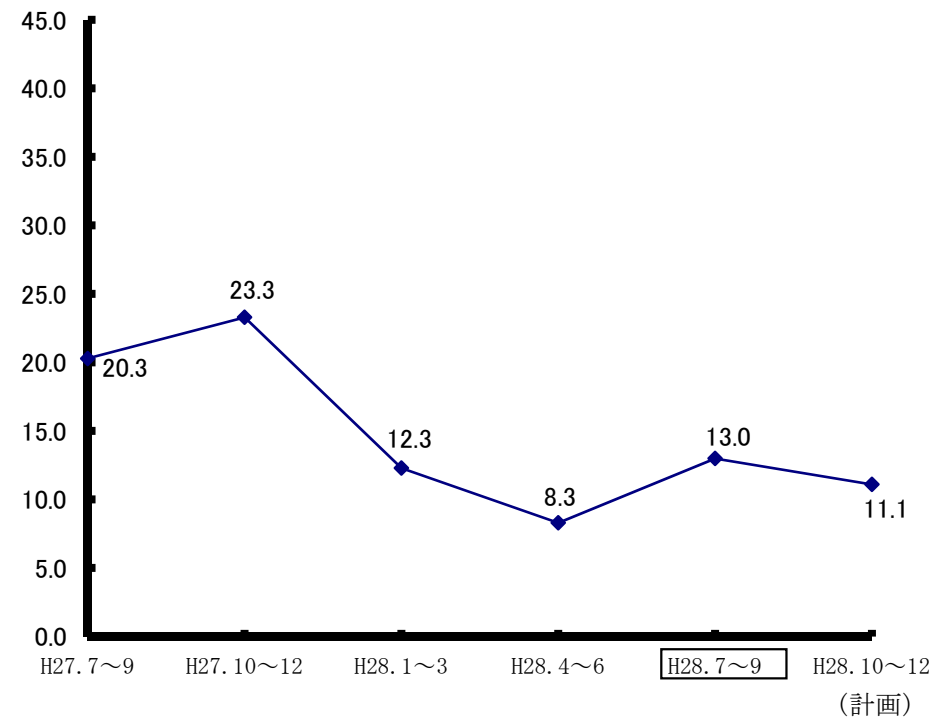


設備投資

今期、サービス業において設備投資を実施した企業は4.7ポイント増加して13.0となりました。

来期は、設備投資を計画する企業が減少することが込まれ、11.1となる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

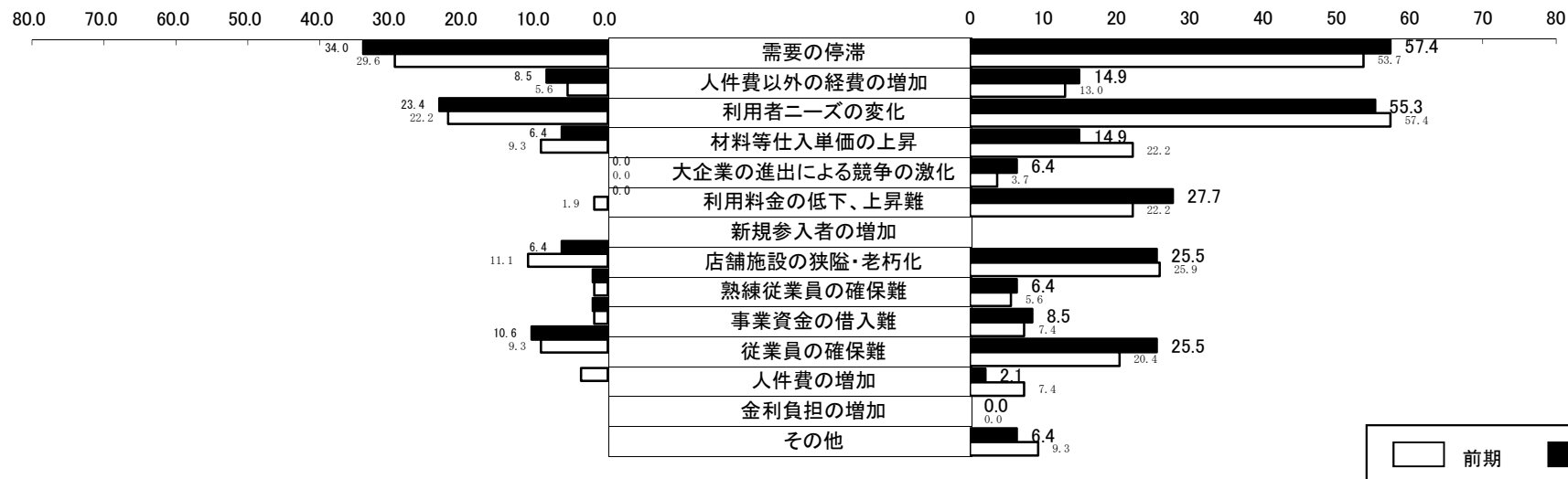
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

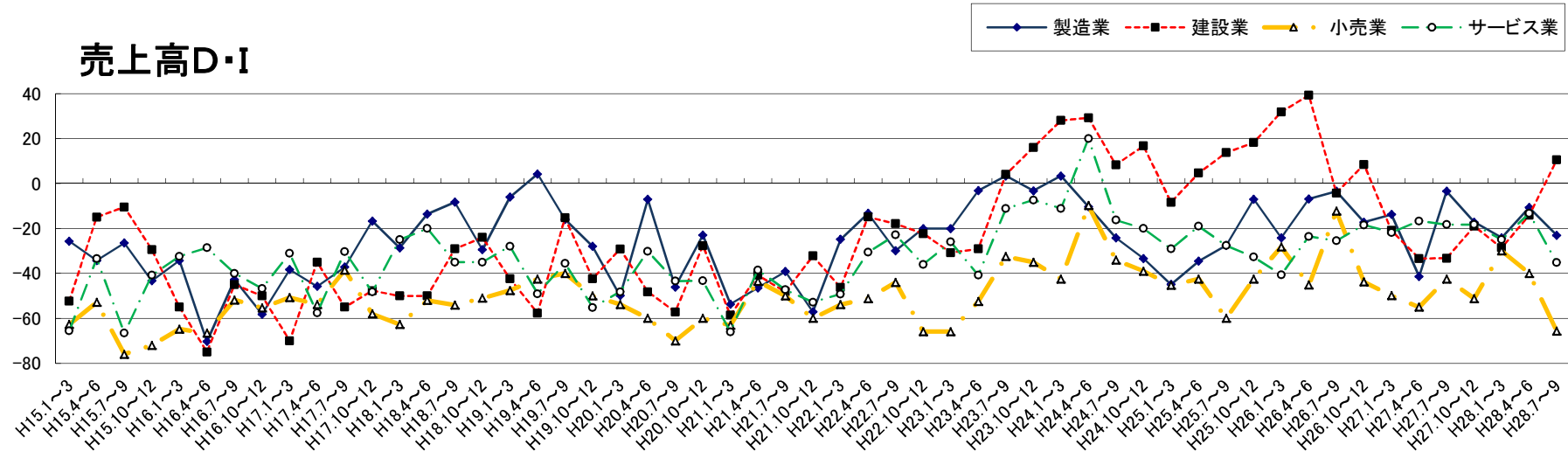
1位～3位の問題点

(目盛: %)

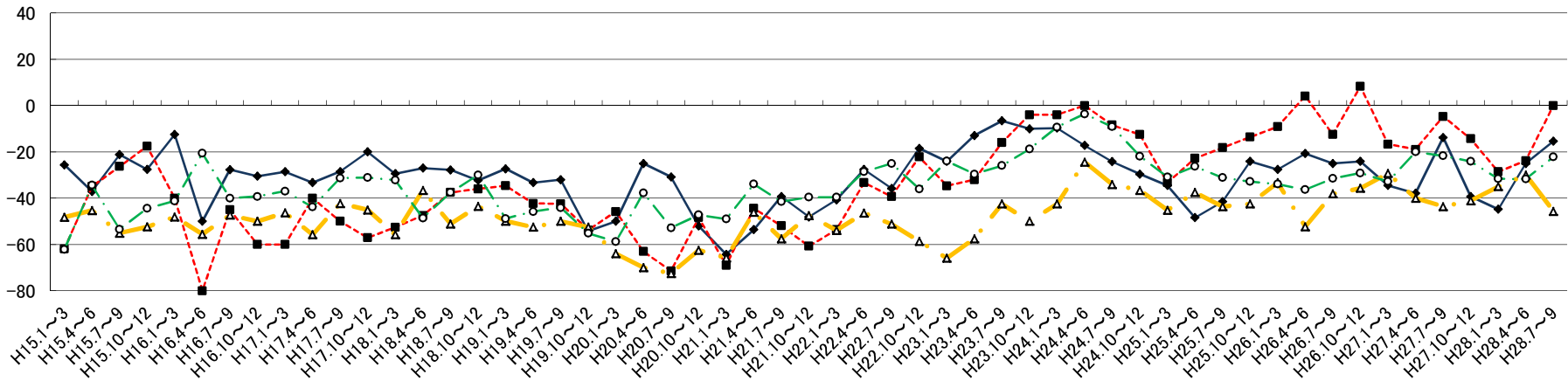


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内 10 商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、岩泉、軽米町、野田村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 134 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成 28 年 7 月～9 月を対象とし、調査時点は平成 28 年 9 月 1 日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種 \ 項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)	29 (19.3)	26 (19.4)	89.7
建設業	21 (14.0)	19 (14.2)	90.5
小売業	40 (26.7)	35 (26.1)	87.5
サービス業	60 (40.0)	54 (40.3)	90.0
	150 (100.0)	134 (100.0)	89.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他

本報告書中の D・I とは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。

平成 28 年台風 10 号により甚大な被害のあった岩泉商工会は本調査未実施となっております。